

桂・ニュース

KATSURA
NEWS

基本理念

私たちは、患者さんの人権を尊重し、地域に必要な
基幹的・中心的な医療を担当すると共に、さらに高次
の医療に対応できるよう努力します。

社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院

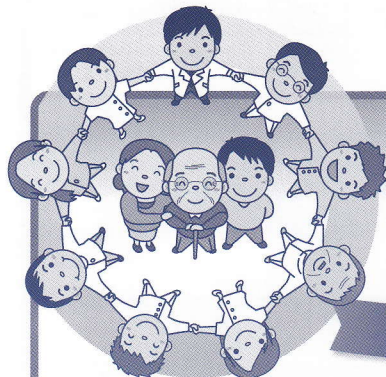
11
月号

NO. 212
2013・11・1
毎月1回・1日発行
〒615-8256 京都市
西京区山田平尾町17
TEL075-391-5811(代)

編集：広報課
印刷：(有)アクト

京都桂病院ホームページ

<http://www.katsura.com>



糖尿病をより深く 理解するために

— 糖尿病週間と世界糖尿病デー —

内分泌・糖尿内科
部長

山本 泰三

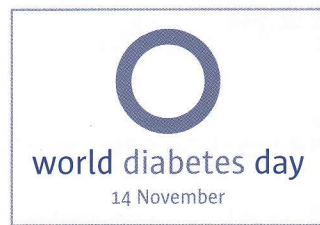


11月14日はもともとインスリンの発見者の一人
でノーベル賞を受賞されたバンティングの博士の
誕生日であり、その業績を讃えて、わが国でも半
世紀にわたり、11月に糖尿病週間として市民向け
の啓発イベントなどが開催されてきました。京都
ではこのような活動が全国に先駆けて開始されま
した。今年は京都国際会議場で11月23日に日本
糖尿病協会の近畿地方会も開催されますので、興
味がある方はぜひご参加ください。

2006年に国際連合(国連)は、IDF(国際糖尿
病連合)が要請してきた「糖尿病の全世界的脅威
を認知する決議」を総会議で採択しました。同時
に11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界
各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発
運動を推進することを呼びかけました。さらに
IDFは決議に先駆け、「Unite for Diabetes」(糖
尿病との闘いのため団結せよ)というキャッチフ
レーズと、国連や空を表す「ブルー」と、団結を表
す「輪」を使用したシンボルマーク(ブルーサーク

ル)を採用し、全世界での糖尿病抑制に向けた
キャンペーンも推進しています。京都でも、世界糖
尿病デーに東寺、二条城などでブルーライトアッ
プなどのイベントが行われます。

このような活動を通じて、糖尿病やその合併症
で苦しむ人を一人でも減らし、その苦しみを少しで
も軽くすることを我々の共通願望とし、その実現
のために行動することが今強く求められていま
す。この壮大な夢を「We have a dream」(我々に
は夢がある)から、「Dream come true」(夢がか
なう)へと展開させていくには、患者さんやご家
族、医療関係者だけではなく、地域のさまざまな
人のネットワークを
介した積極的な取り
組みも極めて重要で
す。皆様方のご協力
をぜひよろしくお願い
します。



▲世界糖尿病デーのロゴマーク

京都桂病院

土曜コンサート

今回は、堀音父母の会の協力によりピアノ・
ヴァイオリンなどの演奏でお楽しみいただきます。

入院されている患者さんだけでなく、外来へ通
院中の方・在宅で療養されている方・そして地域
の皆様もぜひご鑑賞ください。

お楽しみに!

日時：11月16日(土)午後2時～3時

会場：外来棟1階ロビーにて

曲目：◆「魔女の宅急便」のテーマほか

※皆さまよくご存知の曲を中心に演奏致し
ます。